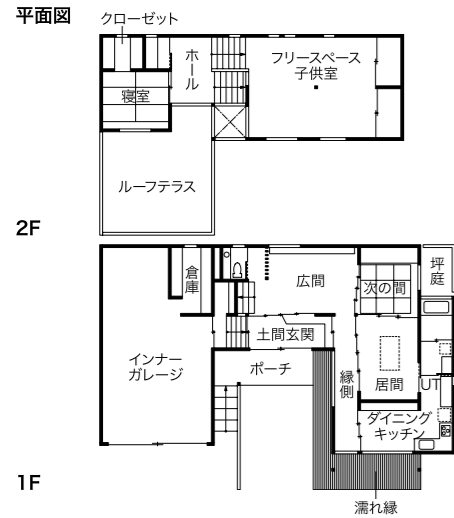
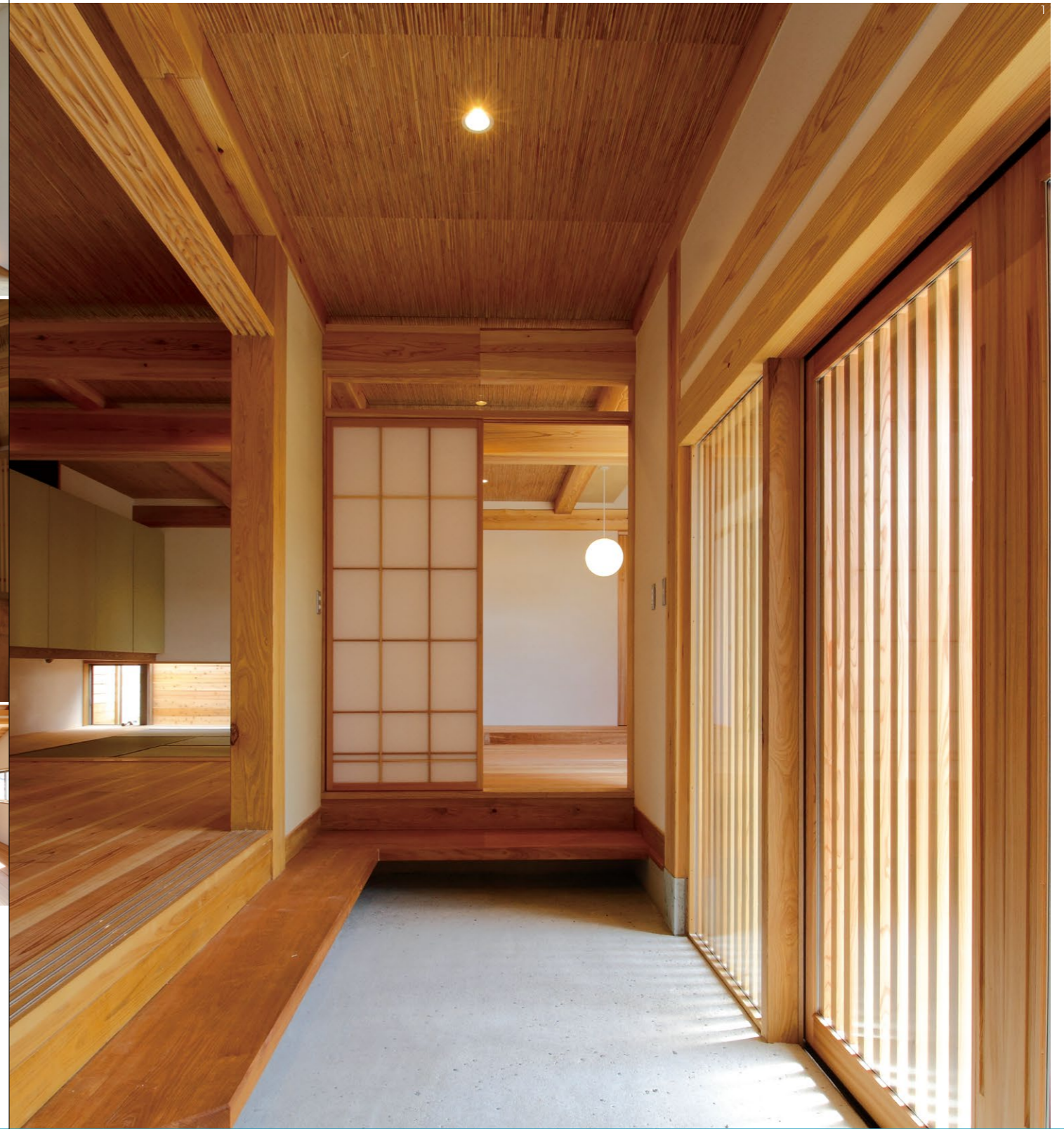


建築データ

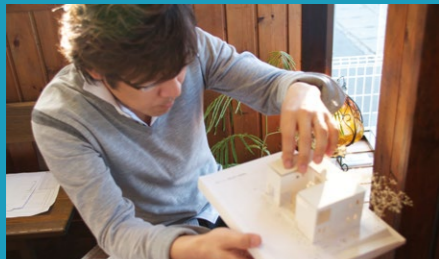
- 設計 ■ 樹音建築設計事務所  
 施工 ■ 小野寺大工店  
 構造規模 ■ 木造・2階建て  
 延床面積 / 237.68㎡ (約72坪)  
 主な外部仕上げ ■ 屋根 / ガルバリウム鋼板立平葺、外壁 / リン吹付、建具 / 玄関ドア: 木製建具、窓: アルミサッシ (ペアガラス) 一部木製サッシ  
 主な内部仕上げ ■ 床 / スギ広幅板・クリ無垢フローリング、壁 / 漆喰塗、天井 / ヨシベニヤ・スギ板・漆喰塗  
 断熱仕様 ■ (充填断熱) 床下 / ポリスチレンフォーム70mm、壁 / パーフェクトバリア100mm、天井 / ポリスチレンフォーム60mm  
 暖房方式 ■ 温水ルームヒーター  
 概算工事費 ■ 4,800万円 (税込)



1. 県産スギの造作建具が美しい陰影を描く土間玄関。天井にもスギ材を使用。正面奥は居間
2. 広間からスキップフロアを上ると、クリの無垢フローリングを採用した中二階ホール。壁の造作棚、スキップフロアの踏板も、東北産の広葉樹を使用し空間のアクセントに
3. 東北産ヒノキと十和田石を採用し造作した浴室。浴槽に身を沈めると坪庭が見える
4. 緩やかに閉じる日本家屋ならではのしつらいを生かした居間、次の間、広間。造作建具を開け放せば、多目的に利用できるのびやかな空間が出現する
5. 造作を最小限にした子ども室は、大きなフリースペースになっている。将来、必要に応じて間仕切りを設ける予定。構造現しの天井、床は県産スギ材
6. 約100坪のゆとりある敷地と1mの高低差を生かして建てた富谷町の家。車3台が停められるインナーガレージと大屋根、濡れ縁が表情豊かな外観をかたちづくる



私たちの取り組み



地域材を生かした住まいを希望されるお施主さんと家づくりを行なう時は、石巻・河内町にある製材所へご案内しています。県産スギ材は、加工や流通の過程を自分の目で確かめられるのも魅力です。地域資源がどのように建材になるのかを実際に見ることで、県産スギ材をより身近に感じてもらえたらと思っています。



じゅおん 樹音建築設計事務所 代表  
 ゆくみ 往見 寿喜

問い合わせ先  
 樹音建築設計事務所  
 仙台市青葉区柏木2丁目6-19  
 TEL.022-718-7537  
<http://www.yukumi.jp/>

ギを使用しながら、敷地の高低差を生かし、4層のスキップフロアにしました。さらに、土間玄関と広間、掘りこたつと縁側を備えた居間、中二階ホールなど、遊び心のある空間を設けました。スギならではの力強さを表現する一方で、現代の生活にマッチしたデザイン、軽やかさが実現できたと思います。

住まうご家族は30代のご夫婦とお子さん1人。これからの家族の暮らしの変化にも対応できるように、子ども室はあえて間仕切りを設けず大らかに仕上げました。こうした長いスパンで使える暮らしのうつわを実現することも、設計士の大切な仕事です。

赤み、白色、節と多彩な表情をもつ県産スギ材は、その持ち味を効果的に生かすことで、建物の居住性、意匠性を格段にアップできる建材です。爽やかな香り、調湿性、温かみなどが相互作用し、室内に入った時に心地よく感じられるのも、スギ材の特徴です。その一方で、これから新築を考える若い人たちには、どこか古びた、田舎風のイメージをもたれがちなのも事実。

そんな既成概念を一掃するために、あえてモダンでシンプルな空間デザインを提案しています。例えば、昨年手掛けた富谷町の事例。構造材や内装、造作建具に県産ス

- 県産スギ材の魅力を五感で楽しむ空間
- 遊び心と居住性の共存
- 50年先も使える暮らしのうつわづくり

設計事務所編 | 02

じゅおん 樹音建築設計事務所